

医療の部

賞金 800万円

重度の心身障害児もプールで楽しくリハビリを

医療法人かやき (代表者 市橋亮一さん)



重度の身体的・知的障害がある子どもや医療的ケア児のための医療型短期入所施設「かやきキャンパス」を、岐阜県岐阜市のクリニックに併設。人工呼吸器などの医療機器をつけたまま入れる温水プールでは、動かせる部位や範囲に応じて、個々に合わせた水中トレーニングを実施。「寝たきりのわが子が初めて水中で立つ」と喜んで喜んでくれるご家族もいます。

賞金 600万円

医療的ケア児・障害児と家族に切れ目のない支援を

認定NPO法人NEXTEP (代表者 島津智之さん)

医療的ケア児や障害のある子どもが、自宅で安心して暮らせるよう、熊本県合志市を拠点に、子ども専門の訪問看護や医療型短期入所施設を備えたクリニックなど、様々な事業を展開しています。

賞金 500万円

アフリカで蔓延する肝炎 現地主体の対策をサポート

認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパン 肝炎プロジェクト (代表者 梅田敦行さん)

近年、アフリカなどで多くの命を奪っているウイルス性肝炎。貧困国の一つ、ブルキナファソでプロジェクトを設立し、検査機器を寄贈、肝炎の知識や予防法を広める啓発活動や人材育成も進めています。

平和・人権の部

賞金 300万円

自然災害の多いアジア太平洋地域 国・組織の枠を超えた協力体制を構築

一般社団法人アジアパシフィックアライアンス (代表者 大西健丞さん)

日本を含む67国と1100以上の企業・NGOなどが連携、災害時の緊急支援のほか、復興まで長期的にサポートします。

賞金 300万円

日本に逃れてきた難民を支えて約25年 食料支援や法的サポート、1万人以上に

株式会社Dots for (代表者 石川えりさん)

難民の生活を傍観できず、「同じ人間として支援したい」と1999年に団体を設立。来日した難民の衣食住の支援など、活動は多岐にわたります。

賞金 300万円

アフリカ農村部に通信インフラを整備 「学ぶ・働く・買う」もスマホで実現

株式会社Dots for (代表者 大場博哉さん)

格差解消を目指し、低コストでデジタルサービスを提供。アプリでは、新たな技能を習得できる動画やスマホで完結できる仕事の紹介も。

賞金 300万円

アフリカの貧困国「赤道」 無教育の連鎖を断ち、夢を育む

一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会 (代表者 榎本恵さん)

読み書きや算数などの教育のほか、食料の配布や衛生指導も行う「赤道」をモザンビークに設立。現在、約350人が学んでいます。

賞金 200万円

「熱中症」の被害を減らしたい！ 救急医が伝える予防・応急処置

熱中症予防啓発ネットワーク (代表者 犬飼公一さん)

とくに高齢者にはなかなか浸透しない熱中症対策。行動変容に結びつきやすい説明を行うとともに、応急処置の実習もしています。

賞金 100万円

移住者への若者を地域で支援 レジリエンスを育み、前向きに

NPO法人Immi lab (代表者 北川ベドロソ美穂さん)

関西在住の「移民2世」の若者を支援すべく、社会人と若者の対話、日本家庭でのホームステイ、大学進学支援などを行っています。

賞金 100万円

LGBTQ+などの多様な人材を 求人サイトや企業研修で後押しし

株式会社JobRainbow (代表者 星賢人さん)

ダイバーシティを重視する企業の求人サイト「JobRainbow」を開発。多様性に関する研修なども500社以上で実施しています。

賞金 300万円

「伐らない林業」で 持続可能な山林を目指す

株式会社中川 (代表者 田中崇さん)

伐採後に植栽されていない山が点在している和歌山。どんぐりから育てた苗木の植樹を、地域の人と実践中です。

賞金 300万円

セネガルの農業開発 住民と対話を重ねて実現

認定NPO法人ムラのミライ (代表者 原康子さん)

農村の過剰な水不足の現状を、住民に見つめ直してもらうとともに、農業の知識や手法を伝えています。

賞金 300万円

カンボジアに竹建築の複合施設 「学ぶ」と「働く」をかなえる場

NPO法人Aearth Inc (代表者 加藤大地さん)

フリースクールや工房、レストラン、宿泊施設、農場などがそろう施設を建設。安定した雇用や新事業の創出につながっています。

賞金 100万円

外国ルーツの若者にキャリア教育 将来の多様な選択肢を伝えたい

NPO法人愛伝舎 (代表者 坂本久海さん)

三重県在住の外国ルーツの高校生を対象にセミナーを開催。大学進学や費用や正規雇用のメリットなど、役立つ情報を伝えています。

賞金 100万円

気候変動対策を先導する 日本の次世代リーダーを育成

青年環境NPO Climate Youth Japan (代表者 北川諒さん)

気候変動対策に関する国際会議の場に、「若者代表」として毎年2~9人を派遣。ユースの意見の反映と人材育成に努めています。

賞金 300万円

障害のある人も楽しめる ユニバーサルシアター

合同会社Chupki (代表者 平塚千穂子さん)

東京都北区に開設。視覚情報を補う音声ガイド、字幕、完全防音の小部屋など、多様な人に配慮しています。

賞金 300万円

病院に「嚥下食カフェ」 地域と医療をつなぐ場に

医療法人社団豊倉近石病院 カムカスフロア (代表者 近石社登さん)

岐阜市の近石病院に、嚥下障害のある人も食事を楽しめるカフェを開店。介護予防教室や離乳食教室も開催。

賞金 100万円

北海道の木材を活用し 「洋酒樽」づくりに挑戦

ミチタル株式会社 (代表者 小島瑞太さん)

貴重な森林資源を道内で活用したいと洋酒樽を製造。地域の洋酒産業に貢献していきたいです。

賞金 1,000万円

全国各地の子ども食堂 物資・資金などを仲介して支援

認定NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ (代表者 三島理恵さん)

子ども食堂の数は、全国で約1万2600カ所(2025年12月時点)ありますが、その約半数が「運営資金の不足」に悩んでいます。私たちは、子ども食堂とその活動を応援したい企業・団体や個人をつなぎ、必要な物資や資金の仲介、社員ボランティアの派遣などを実施。2024年度は、年間約6.9億円の資金をのべ3914団体へ、約4.7億円相当の物資をのべ1万532団体へ届けました。

賞金 800万円

一人でも多くの命を救いたい 年間約5000件の相談に対応

認定NPO法人国際ビレンダーズ大阪自殺防止センター (代表者 北條達人さん)

私たちは年間約5000件の自殺相談電話に対応しています。自殺の計画があったり死にたいと思ったりしている人の多くが、相談員との対話を通じて「今日はやめておきます」「まだ電話してもいいですかなど」と思い直してくれます。一方で、いま対応できているのは、かかってきた相談電話の約5%以下。人員の拡充やVtuberの活用などを通じて、今後一人ひとりに寄り添っていきます。

賞金 9億2,840万円

総額 9億2,840万円

<SDGs若者賞>
第1回 1億3,000万円 第2回 1億5,000万円
第3回 1億2,100万円 第4回 1億100万円
第5回 1億2,000万円 第6回 7,000万円
第7回 1億3,900万円

<奨学金> 9,740万円(2022-25年)

賞金 1,000万円

脳画像データをAIで解析 認知症の早期発見・予防へ

株式会社エム (代表者 森達さん)

米ジョンズ・ホプキンス大学で、脳画像解析について研究してきました。健康な人の脳画像データをAIで解析し、年齢別の萎縮の平均値やばらつきを解析。認知症のリスク因子を測定する「脳健康評価プログラム Mvision health」を開発しました。受診可能な医療機関は約350カ所(2025年5月時点)。認知症になる人を1人でも減らす、発症を1年でも遅らせることを目指します。

賞金 1,000万円

児童相談所を「第三者評価」 子どもの権利を外から守る

一般社団法人日本児童相談業務評価機関 (代表者 安部計彦さん)

児童相談所や一時保護施設に対する第三者評価を実施しています。事前アンケートに加えて、専門家チームによる現地調査で、子どもや保護者との関わり方が適切かどうかを評価。児童相談所などからは「現場の課題を初めて理解・評価してもらえた」との声も。今後は全国に第三者評価を広げること、業務の質の向上、ひいては、子どもの権利を守ることに繋がりたいと思います。

賞金 500万円

虐待や貧困で「家族を頼れない」 そんな人が安心して暮らせる支援を

社会福祉法人の家 ゆずりは (代表者 高橋亜美さん)

20歳前後で社会的養護から離れた後、社会生活にまずついていこうとする若者は少なくありません。生活保護などの申請や住居探しのサポート、就労支援など、困りごとの解決のために様々な活動を行っています。

賞金 500万円

入院や自宅療養をしている小中高生を支援 「進学に前向きになれた」との声も

認定NPO法人ラ・ファミリエ (代表者 梅田敦行さん)

松山市を拠点に、長期療養中の子どもの学習支援や心理的サポート、学校との連携などを行っています。進路生活を選定し、服薬管理などを自ら実践する「防災キャンプ」も開催しています。

賞金 300万円

「朗読リハビリ」で楽しく失語症からの回復を目指す

一般社団法人ことばアートの会 (代表者 石原由理さん)

脳梗塞の後遺症に苦しんだ経験から、独自の朗読プログラムを開発。失語症者向けの朗読教室を開講し、舞台公演も行いました。

賞金 500万円

視覚障害のある中高生に 声優が「声」の出張授業

「声の力」プロジェクト (主催:文化庁、朝日新聞社)

吉川豊志さんや水田わさびさんベテラン声優が、全国の視覚特別支援学校で出張授業を開催。呼吸法や発声のレクチャー、朗読などを通じて、生徒たちは声で表現する楽しさを実感しています。

賞金 500万円

企業とフードバンクをつなぎ 食品ロス削減と親子の支援を実現

一般社団法人全国フードバンク推進協議会 (代表者 米山廣明さん)

60団体以上が加盟する全国ネットワークを生かして、食品メーカーとフードバンク団体の「食品寄贈のマッチング」を実施。給食のない長期休暇中にも必要とする家庭に食料を届ける支援も行っています。

賞金 300万円

瀬戸内海沿岸に漂着したプラスチックごみを回収

一般社団法人E.C.オーシャンズ (代表者 若田功次さん)

漂着ごみが放置された浜辺に船で向かい、回収しています。過去9年間で、地域住民ら約4500人と約60ものごみを拾いました。

賞金 100万円

陸上施設で養殖 温暖化に強いサング

有限会社海種 / Sea Seed, Ltd. (代表者 金城浩二さん)

サングの白化が進む沖繩で、陸上養殖に挑戦。育成に成功した高水温耐性種を含め、沖繩の海に16万株以上を植え付けました。

賞金 200万円

ケニアの農家の 貧困改善に奔走

AlphaJiri Ltd. (代表者 / CEO)

作物の加工や商品化などを行い、小規模農家の収入増に貢献。自動グループへの助け合いも浸透しつつあります。

賞金 200万円

モビリティデータで 金融格差型FinTechを

Global Mobility Service株式会社 (代表者 中島徳至さん)

貧困の連鎖を断ち切るため、モビリティデータで金融格差型FinTechを実現。約14億人といわれる世界の低所得層に貢献しています。

賞金 200万円

書店で気軽にできる寄付 子どもたちに本を贈ろう

認定NPO法人チャリティーズ (代表者 清浦寛輝さん)

経済的な理由でクリスマスプレゼントをもらえない子どものために、書店でできる寄付「ブックサンタ」を実施。

賞金 200万円

学校内フードパントリーで 子ども支援と食品ロス削減

NPO法人栃木県子ども応援なないろ (代表者 皆川純子さん)

企業から提供された食品を中学・高校・大学などで配布。「食品ロス削減への協力」と打ち出し、受け取りやすくする工夫も。

賞金 200万円

「寄付たい企業」と「支援団体」をマッチング

WeSupport Family (代表者 大熊拓磨さん)

食品を寄付したい企業と支援団体をつなぎ、ひとりご家庭をサポート。定期的に約3万2000世帯に食品を届けています。

賞金 100万円

「お互いさま」の精神で 福島の子どもを支援

NPO法人チームふくしま (代表者 半田真仁さん)

被災者となる人たちの食料代などを先払いできる「お互いさまチケット」の仕組みを国内外133店舗で導入しています。

賞金 200万円

東欧から出雲へ！ 高度IT人材を誘致

株式会社People Cloud (代表者 牧野寛さん)

福岡の自然派クリーニング店で、コードの重さにも耐える段ボール製ハンガーを開発。他業界からも注目されています。

賞金 100万円

クリーニング店業の 段ボール製ハンガー

株式会社アルサ (代表者 毛利明光さん、松本岳志さん)

福岡の自然派クリーニング店で、コードの重さにも耐える段ボール製ハンガーを開発。他業界からも注目されています。

つなげよう、地球の未来。

世界ではいまま、紛争や貧困、飢餓など、様々な問題が起きています。誰もが希望を持てる、明るい未来をつくるのは、一人ひとりの力です。岩佐教育文化財団が創設した「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞(SDGs岩佐賞)」は、日々地道に努力を重ねる人々をたたえ、次の一歩を後押しする賞です。第7回の応募総数は892件。SDGs岩佐賞はこれからも皆さんの挑戦を応援し、地球の未来に希望をつなげていきます。

第8回 SDGs岩佐賞 まもなく開始!

応募期間 **4月8日(水)~7月7日(火)**

特設ウェブサイトから応募フォームに記入のうえ送信してください。
<https://sdgs-iwasazaidan.com>

お問い合わせ / SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞事務局
TEL:050-3623-0751(10:00~17:30) 土日・祝日・年末年始除く | Mail: jimukyoku@sdgs-iwasazaidan.com

公益財団法人 **岩佐教育文化財団**

朝日新聞社は「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」のメディアパートナーです。

代表理事 岩佐 実次

賞金 200万円

沖繩の200超の飲食店等を 持続可能な「子ども食堂」に

一般社団法人タカラシラスラバス (代表者 山川宗徳さん)

来店者が先払いで購入したチケットで、子どもが食事できる仕組みを拡大中。低コストで続けやすい支援です。

賞金 200万円

書店で気軽にできる寄付 子どもたちに本を贈ろう

認定NPO法人チャリティーズ (代表者 清浦寛輝さん)

経済的な理由でクリスマスプレゼントをもらえない子どものために、書店でできる寄付「ブックサンタ」を実施。

賞金 200万円

学校内フードパントリーで 子ども支援と食品ロス削減

NPO法人栃木県子ども応援なないろ (代表者 皆川純子さん)

企業から提供された食品を中学・高校・大学などで配布。「食品ロス削減への協力」と打ち出し、受け取りやすくする工夫も。

賞金 200万円

「寄付たい企業」と「支援団体」をマッチング

WeSupport Family (代表者 大熊拓磨さん)

食品を寄付したい企業と支援団体をつなぎ、ひとりご家庭をサポート。定期的に約3万2000世帯に食品を届けています。

賞金 100万円

「お互いさま」の精神で 福島の子どもを支援

NPO法人チームふくしま (代表者 半田真仁さん)

被災者となる人たちの食料代などを先払いできる「お互いさまチケット」の仕組みを国内外133店舗で導入しています。